

令和2年1月24日  
都市整備局  
建設局  
下水道局

# 東京都豪雨対策アクションプラン（概要版）

## 【これまでの取組】

- 都では、東京都豪雨対策基本方針に基づき、甚大な浸水被害が発生している地域について重点エリアを定めて、河川や下水道の貯留施設の整備等を推進
- 本方針では、東京 2020 大会開催都市として、豪雨被害から人々の生命の安全を確保し、浸水被害の軽減を図るため、2020 年までの具体的な取組を明示

## 【今般の記録的降雨】

- 令和元年台風第 19 号により、都内でも記録的な降雨に見舞われたが、これまで整備してきた施設が浸水被害軽減に一定の効果を発揮
- 今回は一定の効果を発揮したものの、激甚化する豪雨災害を踏まえ、施設整備を着実に推進するとともに、新たな検討を加えた更なる取組の加速・強化が必要

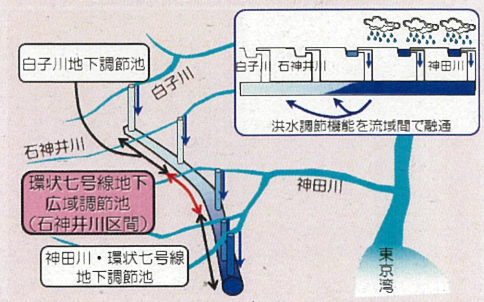
## 【アクションプランの策定】

- 今般の台風被害等を踏まえ、豪雨対策基本方針に基づく 2020 年以降の取組について、これまでの取組の着実な推進と加速や新たな取組による強化、令和元年 10 月台風第 19 号を踏まえた緊急対応を取りまとめた概ね 5 年間の行動計画を策定

### これまでの取組の着実な推進と加速

- 河川整備の更なる推進
  - 環状七号線地下広域調節池等の 8 施設の整備 [R7 年度までに稼働]: 図 1
  - 新たな調節池の事業化に向けた検討 [H30 年度~]
- 下水道整備の更なる推進
  - 渋谷駅東口・杉並区荻窪地区の整備 [東京 2020 大会前に取水] など
- 流域対策の促進・見える化
  - 各区市の努力目標値の設定・進捗状況公表 [R 元年度~]
- ソフト対策の推進
  - 想定し得る最大規模の降雨を対象とした浸水予想区域図の改定 [R2 年度まで]

図 1 <環状七号線地下広域調節池>



時間 100ミリの局地的短時間の豪雨にも効果を発揮

### 河川施設における緊急の取組

- 多摩河川における局所改良や監視カメラ等の設置 [R 元年度~]: 図 2

### 下水道施設における緊急の取組

- 樋門等の施設改良及び操作情報等の共有 [R 元年度~]: 図 3

図 3 <樋門等の施設改良>



### 新たな取組による強化

- 対策を強化するエリアの拡大を検討
  - 75 ミリ対策地区等 [R 元年度~]: 図 4
- 流域対策モデル事業
  - 重点的に貯留浸透を実施するエリアを選定 [R2 年度~]

### 令和元年台風第 19 号を踏まえた対応

図 2 <河川監視カメラ>



図 4 <シミュレーション技術の活用>



50 ミリ降雨対策により、75 ミリ降雨に対して浸水面積の低減を確認